宇野小学校 保護者説明会 会議録（概要）

■ 日　時　　令和 8 年 10 月 8 日（木）17：00 ～ 17：26
■ 場　所　　宇野小学校　会議室
■ 参加者　　保護者 10 名
■ 傍聴者　　市議会議員 0 名 、 一般 0 名

1　築港小学校再編について

事務局　　資料に基づき説明

2　質疑・応答

保護者１：　再編準備委員会の人数構成は決まっていますか。

事務局：　具体的には全て決まっていませんが、各小学校からの保護者代表と小学校区内にある就学前園の保護者代表にも参加してもらう予定です。さらに中学校の再編と同様に、地区の代表と学校の先生にも参加してもらう構成を想定しています。

保護者１：　宇野中、日比中、玉中の統合時には、保護者代表を決めるのが大変だったため、早めに人数が決まると助かります。

保護者２：　令和 12 年度に統合が決まることで、将来的に子どもが小学校在学中に統合することになります。現在の学区が築港だった場合、統合されるなら最初から宇野小に入学させたいという保護者もいると思いますが、統合は指定校変更の理由として認められますか。

事務局：　統合を見越して、新しい学校に 1 年生から通いたいという希望があれば、丁寧に聞き取りを行った上で、指定学校変更することも可能だと考えています。

保護者３：　資料に個別最適な学びと協働的な学びが示されていますが、統合により子どもが増えても教職員の人数が変わらなければ、個別最適な学びは薄れるのではないでしょうか。

事務局：　個別最適な学びの中でも、子ども同士が関わり、クラスメイトの考え方を取り入れることで、より良い学びになることがあります。重要なのは、先生が子どもに教えることではなく、子ども同士の関わりを豊かにしながら、子どもたちが自分に合った学びを選んでいく点だと思っています。友達が多いほど、自分に合う方法や意見交換しやすい友達が増えるという側面もあるため、協働的な学びと若干重なる部分がありますが、統廃合により、個別最適な学びの充実も期待できると考えています。

保護者３：　教職員の増員は考えていますか。

事務局：　教職員の数は学級数によって法的に決まっているため、2 クラス規模になれば教職員も 2 クラス分になり、 1 クラス編成になれば現在のままになります。

保護者４：　教職員の増員が考えられるということだが、サポートスタッフ等の増員についてはどう考えていますか。

事務局：　教職員の数は法で決まっているため、それ以上の増員は難しいですが、サポートスタッフや支援員の増員については、検討していきたいと考えています。

事務局：　本日はありがとうございました。本日配布した資料の最後のページに、QR コードを添付しています。アクセスしていただくと、ご自身の思いや意見、疑問に思われていること、改善してほしい要望などを入力できる自由記載のフォームにつながります。また、本日の資料は、参加できなかった方にも tetoru で送付し、そうした方々からも広くご意見をいただきたいと考えています。いただいたご意見や、本日お答えできなかった点については、改めて説明会を開催し、お答えする予定です。よろしくお願いいたします。